

図書館だより 5月号

東温市立図書館 令和7年5月1発行

図書館カレンダー (5月)



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ …本館休館日

○ …川内分館休館日

■ …ちびちびちゃんのおはなし会 (0～3歳児対象) 11時～

■ …ちびたちびこのおはなし会 (0～3歳児対象) 11時～

■ …かぼちゃんのおはなし会 (どなたでも参加できます) 11時～

移動図書館車 (かぼちゃん号) 巡回日程



一般巡回地区	日にち
幸楽・南方・則之内・河之内・町西	12日・26日 (第2・4月曜日)
希望の館・樋口・横河原	13日・27日 (第2・4火曜日)
志津川・八反地・西岡・田窪・牛淵	14日・28日 (第2・4水曜日)
上樋・播磨台・野田・新村・北野田	8日・22日 (第2・4木曜日)
上村・下林・上林・ガリラヤ荘	9日・23日 (第2・4金曜日)
北方・松瀬川・南方	3日・17日 (第1・3土曜日)
横河原・田窪団地・上林・下林 南野田・堀池	4日・18日 (第1・3日曜日)
則之内甲・河之内・滑川・土谷・松瀬川	10日・24日 (第2・4土曜日)
ウヰルア重信・南方・吉久・井内・則之内乙	11日・25日 (第2・4日曜日)

小学校・幼稚園巡回地区	日にち
南吉井小学校・重信幼稚園	19日 (第3月曜日)
北吉井小学校・北吉井幼稚園	20日 (第3火曜日)
川上小学校・川上幼稚園	7日・21日 (第1・3水曜日)
西谷小学校・西谷幼稚園・上林小学校	1日・15日 (第1・3木曜日)
拝志小学校・東谷小学校	2日・16日 (第1・3金曜日)

講座のお知らせ

はじめてのえほん講座 ～あかちゃんといほん de あそぼ～



絵本の選び方や読み聞かせの方法・楽しみ方を絵本専門士が分かりやすく伝えます。助産師が教える、やさしいタッチで筋肉をゆるめることで身体を整えるママ・パパのリンパケア講座もあります。

対象：0歳児とその保護者 *首が据わった4カ月程度の乳児～1歳

開催日：6月17日(火)・24日(火) (全2回講座)

場所：東温市立図書館 2階 (親子読書室)

申込期間：5月13日(火)～5月27日(火) *申込が多数の場合は抽選

申込先：東温市立図書館 (電話：089-964-3414)

情報あらかると

《2025年 第22回 本屋大賞の受賞作を紹介します!》

大賞『カフネ』阿部暁子

2位『アルプス席の母』早見和真

3位『小説』野崎まど

4位『禁忌の子』山口未桜

5位『人魚が逃げた』青山美智子

6位『spring』恩田陸

7位『恋とか愛とかやさしさなら』一穂ミチ

8位『生殖記』朝井リョウ

9位『死んだ山田と教室』金子玲介

10位『成瀬は信じた道をいく』宮島未奈

翻訳小説部門

1位『フォース・ウィング——第四騎竜団の戦姫』レベッカ・ヤロス著、原島文世訳

2位同着『白薔薇殺人事件』

クリスティン・ペリン著、上條ひろみ訳

2位同着『別れを告げない』

ハン・ガン著、斎藤真理子訳

※受賞作品は貸出予約が集中し、貸出までに日数がかかる場合があります。ご了承ください。

今月のオススメ本 (特集展示)

『おはなをどうぞ』

三浦 太郎 作
出版：のら書店

お母さんのために、たくさんお花をつんだメルシーちゃん。家への帰り道で、動物たちにお花をおすそ分けしていたら…。やさしい気持ちになれる絵本。



【端午の節句の本】(2階展示)

5月5日は端午の節句です。子どもの健やかな成長をお祝いするイベント、端午の節句にまつわる本を紹介します。

【お母さん&お父さんのえほん】

(お話コーナー展示)

5月と6月は、母の日・父の日があります。これにちなんで、お母さんとお父さんにまつわる絵本を紹介します。

本館 見奈良509-3 (市役所北側)

TEL 964-3414

開館時間 9:00～19:00

川内分館 南方264 (川内公民館内)

TEL 966-4721

開館時間 9:00～17:15

図書館に関する詳しい情報をお知りになりたい場合は、図書館ホームページ (<http://www.toon-lib.jp>) をご覧ください。

*閉館時間や休館日に図書の返却をされる場合は、玄関前の夜間返却口 (川内分館は返却ボックス) をご利用ください。

☆☆今月の読書のすすめ☆☆
【 原田マハ 特集 】

東京都生まれ。早稲田大学第二文学部美術史科卒業。『カフーを待ちわびて』で日本ラブストーリー大賞、『リーチ先生』で新田次郎文学賞、『板上に咲く』で泉鏡花文学賞を受賞。フリーのキュレーターとしても活動しており、アートを題材にした作品を多く刊行している。映画化された小説や、エッセイなど著書多数。

『キネマの神様』

文芸春秋

@ 本館 1階開架

40歳を前に、突然会社を辞めた娘。映画とギャンブルに依存するダメな父。2人に舞い降りた奇跡とは——？映画を媒介として壊れかけた家族が再生していく様を描く、切なくも心温まる長篇。



『まぐだら屋のマリア』

幻冬舎

@ 分館 1階開架

料理人になる夢が破れた紫紋は、小さな村の定食屋「まぐだら屋」に流れ着いた。左手の薬指がない、マリアと呼ばれる女性に出会い、謎めいた彼女に惹かれていく紫紋だったが…。



『カフーを待ちわびて』

宝島社文庫

@ 本館 ヤングアダルト

もし絵馬の言葉が本当なら、私をあなたのお嫁さんにしてください——。沖縄の小さな島に住む明青のもとに神様が花嫁を連れてきた。やさしくて、あたたかくて、ちょっぴりせつない恋の話。



『リーチ先生』

集英社

@ 本館 1階開架

西洋と東洋の芸術を融合し、新しい陶芸の世界を切り拓いたイギリス人陶芸家バーナード・リーチ。その半生を、二代にわたり弟子となった名も無き父子の視点から描く。



『総理の夫』

実業之日本社

@ 本館 1階開架

日本初の女性総理・相馬凜子が誕生し、鳥類研究家の夫・日和は妻を支えようと決意する。だが国民目線の政策には、政財界のおじさん連中からやっかみの嵐。果たして凜子の理想は実現するのか。



『板上に咲く』

幻冬舎

@ 分館 BM

1924年、画家ゴッホへの憧れを胸に裸一貫で青森から上京した棟方志功。しかし、絵を教えてくれる師も、画材を買うお金もなく…。棟方と苦楽を共にし支えた妻・チャの無尽の愛と激動の時代を描くアート小説。



『楽園のキャンバス』

新潮社

@ 本館 1階開架

ニューヨーク近代美術館の学芸員ティムは、スイスの大邸宅で巨匠アンリ・ルソーの大作「夢」とそっくりな絵を目にした。ティムは絵の真贋をめぐって、日本人研究者の早川織絵と火花を散らす。



『リボルバー』

幻冬舎

@ 本館 1階開架

ゴッホは本当にピストル自殺をしたのか？フィンセント・ファン・ゴッホと彼にまつわる物語を、現代に生きるオークションリスト・高遠冴の目線で描いたアート・ミステリ。



『暗幕のゲルニカ』

新潮社

@ 分館 1階開架

国連本部のロビーに飾られていた名画「ゲルニカ」のタペストリーが、2003年のある日、忽然と姿を消した…。大戦前夜のパリと現代のNY、スペインが交錯するスリリングな美術小説。



『フーテンのマハ』

集英社文庫

@ 本館 文庫

食、陶器、絵画、鉄道など目的はさまざま。敬愛する寅さんにちなんで“フーテン”を自認し、日本のみならず世界中を飛び回る原田マハの笑いあり、感動ありの取材旅行エッセイ。

